

【公開型GIS構築事業】

<p>事業タイプ (経費の種類)</p>	<p>新しい地方経済・生活環境創生交付金 デジタル実装型：TYPE 1</p>	<p>期間中の総事業費</p>	<p>24,651千円</p>
<p>目的 (効果)</p>	<p>各種地図データを一元化し、見やすく高速に確認できる公開型GIS「つくミル」を構築することにより、市民や事業者がオンラインでいつでも情報を取得できる環境を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民・事業者の利便性向上 (フィルタリング検索機能などを活用し、必要な情報の直感的な取得が可能) ● 問い合わせ件数の削減 (事業者の電話や訪問による問い合わせ負担の軽減及び職員の問い合わせ負担の軽減) ● データ更新プロセスの内製化による機動的な更新体制の構築と外部委託コストの削減 		
<p>具体的使途・実施体制</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● サービス 公開型GIS「つくミル」：都市計画、交通、防災、保健、福祉等の庁内各課等で保有する地理空間データを一元的に公開する地図データサイト (デジタル庁モデル仕様に準拠) 地理空間データ連携基盤：機械判読可能なAPI形式で外部に配信し、二次利用を可能にするデータプラットフォーム (内閣府仕様に準拠) ● 掲載地図データ ハザードマップ、都市計画・規制、認定道路台帳、下水道台帳、AED設置場所、予防接種協力医療機関、など ● 推進・連携体制 「デジタル・ガバメント推進本部」において副市長 (CIO) を責任者、事業担当をデジタル政策課とし、データ保有部署である都市計画課、危機管理課などが横断的に連携して実施 ● 経費内訳 構築業務委託料 23,100千円 (委託先：エアロトヨタ株式会社) 利用料 (R8.1-3月) 517千円/月 × 3か月 = 1,551千円 		



<https://map-tsukuba-city.hub.arcgis.com/>